

平成30年度使用教科用図書

第2回小田原市教科用図書採択検討部会議事録

- 1 日時 平成29年7月14日(水) 15:00～15:55
- 2 場所 小田原合同庁舎 2E会議室
- 3 参加者 *小田原市教科用図書採択検討部会員・・・5名(欠席1名)
穂坂明範 大木敏正 瀬戸哲子 宇根頼子 大木富男
- *教科書調査主任・・・1名
濱島 功
- *事務局・・・3名
鈴木一彦(教育指導課教職員担当課長)、高田秀樹(教育指導課指導・相談担当課長)、大須賀剛(教育指導課指導主事)
- *傍聴者・・・8名

4 議 事

◆進行(高田秀樹)

- ・ みなさん、こんにちは。
- ・ 只今より、平成29年度第2回小田原市教科用図書採択検討部会を開催いたします。
- ・ 初めに、小田原市教科用図書採択検討部会長 穂坂明範校長よりご挨拶申し上げます。

◆挨拶(部会長 穂坂明範)

- ・ みなさん、こんにちは。採択検討部会部会長の穂坂でございます。梅雨明け前ではございますが、連日30度を超える暑い日が続いておりますが、採択検討部会の皆様方におかれましては、ご多用の中ご出席くださりありがとうございます。
- ・ 本日は、私たち採択部会員に「小学校道徳」の調査員から、調査研究の報告をしていただきます。今後の教科書採択につきましては、教科用図書採択基準に照らして、教育委員会定例会及び臨時会での協議を経て、

公正・公平に採択される予定となっております。その際の重要な資料の一つとなる、調査会の調査研究報告の検討が、本日の目的でございます。

- ・ 検討部会員の皆様におかれましては、積極的にご意見・ご質問をいただきますようお願いしまして、私からの挨拶といたします。どうぞよろしくをお願いいたします。

◆ 進行（高田秀樹）

- ・ それでは、議事に入る前に、本日配布資料と日程の確認をさせていただきます。まず資料は、本日の次第と調査研究報告書を配付しています。
- ・ 次に本日の日程ですが、平成30年度使用教科書について、小学校道徳の調査主任から調査研究報告と、その質疑及び協議となります。
- ・ これからの進行は、設置要綱第4条に則り、部会長の穂坂校長にお願いいたします。

◆ 部会長（穂坂明範）

- ・ 調査員の皆さんには、4回の調査会を経て、調査研究の報告をまとめていただきました。それでは、調査主任の方から、報告をしていただきます。よろしく申し上げます。

◆ 調査主任（濱島功）

～別紙 調査研究報告書のとおり～

◆ 部会長（穂坂明範）

- ・ 報告ありがとうございました。ではここで質問がありましたらお願いします。

（質疑）

【部会員】

- ・ 共通の観点として「体験活動の充実」として直接の体験活動がやりやすいように設けられているようだが、何か、低学年・中学年高学年のちがいや特徴はあるか。

【調査員主任】

- ・ 体験活動のひとつはロールプレイと捉えているが、低学年では役割演技が多かった。

【部会員】

- ・ 視点となる（１）②と（２）の観点が記されているが、特に（２）①②③の視点の根拠は。

【事務局】

- ・ 教育委員会定例会で、小田原市採択方針及び採択基準の観点について話し合われた。このときに、県の方針及び基準をもとに、小田原市教育委員会の方針及び基準の観点が決まった。

【部会員】

- ・ 道德の目標であるとか、今までの採択の経緯であるとか様々なものをふまえたものであると捉えてよいか。

【事務局】

- ・ そのとおり。

【部会員】

- ・ 日本文教出版と廣済堂には持続可能な教材があるということだが、具体的にはどのような教材か。

【調査員主任】

- ・ 今後の持続可能な社会に向けた教材ということで捉えていただければと思う。

【部会員】

- ・ 見通しとふりかえりの話があったが、児童自らが見通しをもてるような工夫がそれぞれでされているのだということが分かったが、これから評価ということもふまえるとどのように扱われているか。

【調査員主任】

- ・ ひとつは道德のノートによりこのあたり（見通し・ふりかえり、評価）

ができることもあるし、教師としては評価が気になるところであるが、ノートがない教科書であっても、巻末に同様のページがあるなど、どこも工夫がみられる。

【部会員】

- ・ すべてに対して「いじめ問題」が記されている。会社によって多い少ないはあると思うがどのような感じか。

【調査員主任】

- ・ 直接的な教材と間接的な教材があり、どの会社もいじめ問題については意識している。どの会社も各学年1回は扱われている。ただし、直接的か間接的な教材を使っているかということについては、それぞれの会社や学年によっても異なる。

【部会員】

- ・ 「わたしたちの道徳」に似ているという記載もあるが、現在使われている「わたしたちの道徳」との共通点はあるか。

【調査員主任】

- ・ 「ブランコのりのピエロ」という教材を例にすると、このように、教材があって、つまり主題があって、そのあとにコラムが設けられているという点で似ている。

◆ 部会長（穂坂明範）

- ・ 協議に入ります。
- ・ 採択部会として教育委員会に教科書の調査研究の結果を報告することになりますので、本日調査員から報告された調査票の内容がこれでよいかについて、ご意見を伺いたいと思います。
- ・ なお、皆様のご意見は、来週から行われる教育委員会定例会での教科書採択において、教育委員の判断材料のひとつとなりますので、ぜひ多方面にわたるご意見をいただきたいと思います。

(協議)

【部会員】

- ・ (2)には、特に道徳に関する3観点について記されているが、どの教科書についても明記されていることから調査として適切であると考えられる。

【部会員】

- ・ 学習指導要領についての観点としてもふれられているので適切である。

【部会員】

- ・ 地域教材、現代的な教材、小田原や神奈川県についての教材について記されている。情報モラルなどの点についても記されているので調査としてよい。

【部会員】

- ・ 年間35時間について教材が網羅されているかという点や、仮に35時間の扱いについて入っていない場合でも、学校はどのように対応可能かということが記されているのでよい。

【部会員】

- ・ 児童の実態に応じた編成ができることが重要だと思う、つまりカリキュラムマネジメントについての観点も示されているので、本調査は有意義であると思う。

【部会員】

- ・ 特別の教科道徳では「考える道徳」であることが求められている。このような活動を児童ができるように重点的に考えていくことができる。それだけでなく、保護者との関わりも大事であるが、このような視点からも調査研究がまとめられているのでよいと思う。

【部会員】

- ・ すべてに対してよくわかりやすくまとめられている。先ほども言ったが、いじめ問題に関することがどこについても記されているということなのでよい。

【部会員】

- ・ 他の教科と違って、別冊ノートがあるようなことも特徴であると思うが、別冊になっていないものであっても、同様の対応が可能であることや特徴といったことが、どこの教科書会社にも記されているのでよい。

【部会員】

- ・ いわゆるアクティブラーニングに関して求められているが、問題解決学習、体験活動の充実といった視点について、どの教科書についてもふれられているのでよい。

【部会員】

- ・ 『④構成・分量・装丁』について、様々な配慮を要する児童がいる中で、ユニバーサルデザインのことにふれているのもよい。

【部会長】

- ・ 「ここはもう少しこう直した方がよいのではないか」ということでもよいが他に何かあるか。

【部会員】

- ・ 「光村図書」の③内容の４点目、『道徳的な扱いとは別の見方で…』という表記がわかりにくいというか、具体的にイメージしにくい。

【事務局】

- ・ 今の指摘については、調査会に確認し、表記の修正を図りたい。修正内容を部会員の皆さんにお返しし、次回の教育委員会定例会までに対応していく。

◆ 部会長（穂坂明範）

- ・ 意見も出尽くしたようですので、終了します。ありがとうございました。では、進行を事務局にお返しします。

◆ 進行（高田秀樹）

- ・ 議事進行及びたくさんのご意見をいただきありがとうございました。では連絡を2点、事務局よりさせていただきます。
- ・ 1点目ですが、本日配付している資料のうち、調査研究報告書は回収させていただきます。机の上にそのまま置いておいてください。傍聴の方も帰りに受付にお出してください。
- ・ 2点目ですが、特別支援学級の教科用図書については、毎年採択することになっております。法的根拠は「学校教育法附則第9条」によります。本日は皆さまに審議をしていただきませんでした。各学校が児童・生徒一人一人の状況に応じて選択した図書を、教育委員会が、教科書として採択するものとなっております。来週行われる教育委員会での採択となりますのでご承知おきください。
- ・ 本日は大変お忙しい中をご出席頂きまして、本当にありがとうございました。これを持ちまして第2回の小田原市教科用図書採択検討部会を終了いたします。ありがとうございました。